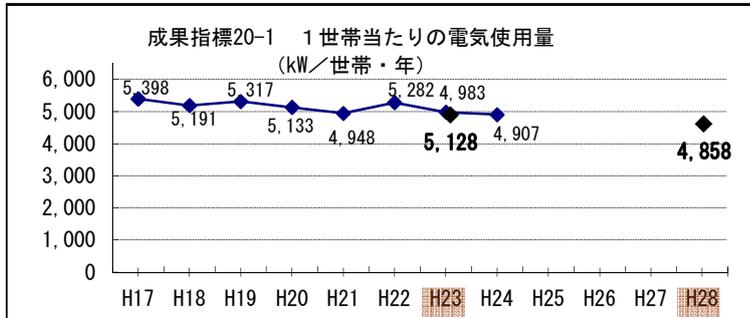
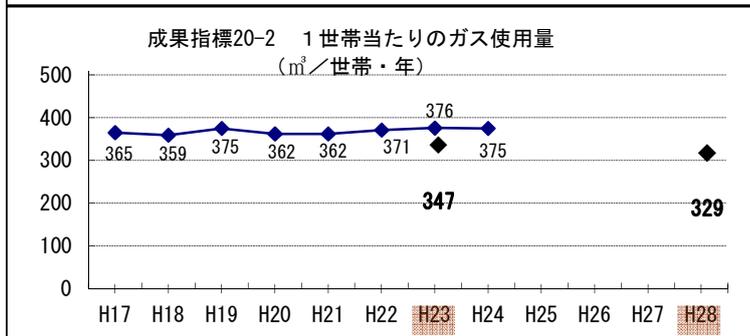


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム設置補助
燃料電池システム設置補助



計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

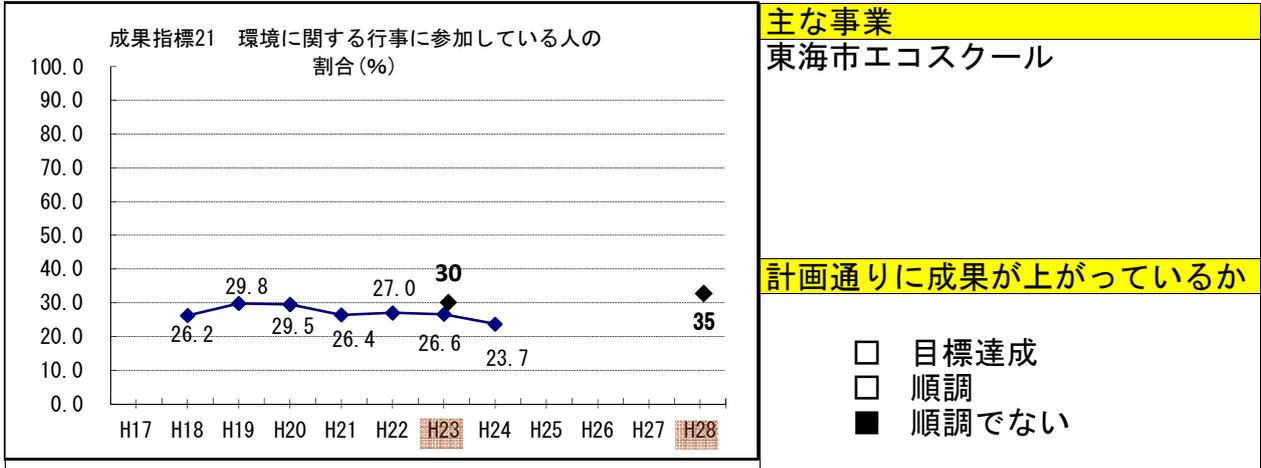
ガス使用量は数年横ばい傾向にあり、24年度も同様であった。ガスの市内契約数は数年増加傾向にあるが、家庭用のガス供給量も増加傾向にあり、1世帯当たりガス使用量は変わっていない。電気使用量は前年より減少した。昨年に引き続き28年度目標には未達成であったが、23年度の目標は達成した。電気使用量が減少した要因として昨年度に続き震災による節電意識の向上が大きく働いていると思われる。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

エネルギー消費は景気や気温に影響することが大きい。これらについては、省エネ機器や太陽光発電システムの設置の促進を行なう。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



成果指標の分析

平成24年度は昨年度と比較すると、2.9%減少し、成果として順調ではない。年齢別に比較すると、年齢とともに参加率が増加している。環境に関する行事に参加している人の中で、地域の清掃活動に参加している人の割合が最も高い。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

東海市エコスクールで今年度も他課の環境学習をエコスクールとして開催したり、新しい講座を増やして、環境の関心を高めていく。
また、環境の関心を高めるために、メディア、広報紙等を使って、積極的に広報活動を行っていき、エコスクールの認知度を上げる。